

5年度入試 順調に進む



津田沼校舎のA日程試験会場（2月1日）

今年度のA日程志願者数は3万5392人（昨年比98.1人増）、SA日程では1万5095人（昨年比1124人増）と、両試験とも昨年志願者数を上回る結果となった。

17、18日には、同じ津田沼試験場と全国の17試験会場（17日のみ）で、B日程、SB日程入学試験が実施された。17日には一部の地域で交通機関の乱れなどがあったが、試験時間に影響はなく、予定通りに開始された。

B日程志願者数は1万5065人（昨年比2448人減）と昨年志願者を下回った。SB日程は、数学と国語の総合問題により評価する今年度新設された試験種で、数学I・II・A

A日程、SA日程入学試験が2月1〜4日の4日間、津田沼試験場と全国の17試験会場（2月1、2、3日のみ）で実施された。天候不良や交通機関の乱れなどのトラブルはなく、試験は無事に終了した。

（場合の数と確率・図形の性質）・B（数列・ベクトル）、国語総合（古文・漢文を除く）の内容を問う問題を出題している。

A日程+SA日程と同様、セットで同時出願をすることでB日程の受験料のみでSB日程も併願することが可能。B日程・SB日程は同日試験日に別時間を実施となっており、受験生へチャンス

を拡大するともに、受験料の負担も軽減した。SB日程の志願者総数は5950人となった。

このほか、大学入学共通テスト利用入学試験（中期II本学試験なし）の志願者数は7871人（昨年比95人増）と、昨年を若干上回る結果となった。

NEWS CIT

2023
2.15

ニュースシーアイティ

千葉工業大学・入試広報部
〒275-0016 千葉県習志野市津田沼
2丁目17番1号
TEL 047(478)0222 FAX 047(478)3344

<https://www.it-chiba.ac.jp/>

毎月1回(8月を除く)15日発行

ニュースガイド

- 2面 柳さん学生奨励賞/安田さん松元さん学生論文賞/小野澤さん大原さん国際会議で受賞/大山さん取調賞/天満さん軽金属溶接協会賞
- 3面 亀田研へ海洋プラ最新鋭分析装置/千葉興銀から寄付/津田沼パルコ閉店へマッピング
- 4面 南房総市でロボ体験講座/復興願い「竹あかり」/ボッチャ体験講座/訃報

SB日程 受験チャンスを拡大

ロボ工学1期生卒業

ハノイ国家大 本学全面協力、開設4年

本学の海外交流協定校であるベトナムのハノイ国家大工学大・ロボ工学科の1期生26人が1月11日、晴れの卒業式を迎えた。本学が全面協力して同大にベトナム初のロボット工学科が開設されて4年。本学の瀬戸熊修理事長と古田貴之・未来ロボット技術研究センター所長が現地を来賓として出席。瀬戸熊理事長は、卒業生一人一人と握手を交わし、門出を祝福した。

式典でありさつに立つた瀬戸熊修理事長は「これから共に助け合い、より深い交流を通じて、国と世界を変革する中心であり続けましょう。未来の世界を創るのは私たちなのです。卒業生の皆様が、社会を変革させる科学技術者として世界に貢献してください。」と激励した。

その後、ベトナム側でロボティクス分野の強化が急がれ、本学のカリキュラムをそっくり移植する形で、19年9月に同国初のロボット工学科が開設された。

本学の未来ロボティクス学科のカリキュラムは理論ファーストではなく、演習科目を履修する過程で理論の重要性を理解させるという特色があり、「習うより慣れろ」を基本とする実践的な教育がベトナム側から期待された。

以来、本学側は教育コンテンツの提供だけでなく、教員を現地に派遣して短期集中講義を行ったり、同大教員を日本に招いて研修を行うなど全面支援してきた。こうした取り組みによって本学は、私立大では唯一、文部科学省の「日本型教育の海外展開推進事業（DII-Port+）」の公認プロジェクト



羽ばたくことを期待します」と祝辞を述べた。

同大のロボット工学科開設は2015年に瀬戸熊理事長と古田所長らが現地を訪れた際、同大のグエン・ベト・ハノイ学長から協力を要請されたのがきっかけ。同大と本学は13年に交流協定を締結、特にロボット工学の分野で同大生が本学を訪れ実習授業に参加するなど交流してきた。

4年度前期 グッド・レクチャー賞に12教員



令和4年度前期のグッド・レクチャー賞に教員12人が選ばれ、1月19日の受賞式で松井孝典学長から表彰された。写真。令和2年から、過去5回以上ベスト・ティーチャー賞を受賞した教員をDistinguished Teacher、過去5回以上グッド・レクチャー賞を受賞した講義をDistinguished Lectureと認定して表彰対象から外すこととしている。これまでプロジェクトマネジメント学科の鴻巣努教授がDistinguished Teacherに認定され、未来ロボティクス学科の米田完教授、教育センターの市川洋子助教の講義がDistinguished Lectureに認定されている。

今年度前期受賞者は次の通り（順不同）。

▽グッド・レクチャー賞
賞II電気電子工学科・山崎克巳教授、都市環境工学科・内海秀幸教授、小田原教授、建築学科・石原沙織准教授、知能メディア工学科・宮田高道教授、情報ネットワーク学科・山崎治准教授、プロジェクトマネジメント学科・関研一教授、教育センター（工学部）橋口秀子教授、福岡尚子准教授、教育センター（創造工学部）引原有輝教授、教育センター（情報科学部）杉山和成准教授、教育センター（社会システム科学部）木島愛教授

トの採択を受けた。ハノイ国家大では、学部レベルに加えて、22年9月に修士レベルのロボット工学専攻を立ち上げた。本学はそのための客員研究員招聘事業を24年まで継続する。

非破壊検査の性能向上で

柳さん ■ 学生奨励賞受賞



2022 IEEE AP-S Japan Student Encouragement Award (米国電気電子学会アンテナ・伝搬学会の東京支部が主催する学生奨励賞)は、昨年推薦された論文の審査結果を発表。柳理央さん(情報通信システム工学専攻修士2年、長敬三研究室)の「Reduction of synthetic aperture array element in Thz imaging using compressed sensing via JJA Study on Thz Reflection Imaging of Two Metal Wires Using Compressed Sensing (テラヘルツ波を用いた非破壊検査における圧縮センシングによる分解能向上に関する論文)」が学生奨励賞に選ばれ、昨年12月25日付で表彰された。

柳理央さん(情報通信システム工学専攻修士2年、長敬三研究室)の「Reduction of synthetic aperture array element in Thz imaging using compressed sensing via JJA Study on Thz Reflection Imaging of Two Metal Wires Using Compressed Sensing (テラヘルツ波を用いた非破壊検査における圧縮センシングによる分解能向上に関する論文)」が学生奨励賞に選ばれ、昨年12月25日付で表彰された。

柳理央さん(情報通信システム工学専攻修士2年、長敬三研究室)の「Reduction of synthetic aperture array element in Thz imaging using compressed sensing via JJA Study on Thz Reflection Imaging of Two Metal Wires Using Compressed Sensing (テラヘルツ波を用いた非破壊検査における圧縮センシングによる分解能向上に関する論文)」が学生奨励賞に選ばれ、昨年12月25日付で表彰された。

柳理央さん(情報通信システム工学専攻修士2年、長敬三研究室)の「Reduction of synthetic aperture array element in Thz imaging using compressed sensing via JJA Study on Thz Reflection Imaging of Two Metal Wires Using Compressed Sensing (テラヘルツ波を用いた非破壊検査における圧縮センシングによる分解能向上に関する論文)」が学生奨励賞に選ばれ、昨年12月25日付で表彰された。

柳理央さん(情報通信システム工学専攻修士2年、長敬三研究室)の「Reduction of synthetic aperture array element in Thz imaging using compressed sensing via JJA Study on Thz Reflection Imaging of Two Metal Wires Using Compressed Sensing (テラヘルツ波を用いた非破壊検査における圧縮センシングによる分解能向上に関する論文)」が学生奨励賞に選ばれ、昨年12月25日付で表彰された。

柳理央さん(情報通信システム工学専攻修士2年、長敬三研究室)の「Reduction of synthetic aperture array element in Thz imaging using compressed sensing via JJA Study on Thz Reflection Imaging of Two Metal Wires Using Compressed Sensing (テラヘルツ波を用いた非破壊検査における圧縮センシングによる分解能向上に関する論文)」が学生奨励賞に選ばれ、昨年12月25日付で表彰された。

柳理央さん(情報通信システム工学専攻修士2年、長敬三研究室)の「Reduction of synthetic aperture array element in Thz imaging using compressed sensing via JJA Study on Thz Reflection Imaging of Two Metal Wires Using Compressed Sensing (テラヘルツ波を用いた非破壊検査における圧縮センシングによる分解能向上に関する論文)」が学生奨励賞に選ばれ、昨年12月25日付で表彰された。

柳理央さん(情報通信システム工学専攻修士2年、長敬三研究室)の「Reduction of synthetic aperture array element in Thz imaging using compressed sensing via JJA Study on Thz Reflection Imaging of Two Metal Wires Using Compressed Sensing (テラヘルツ波を用いた非破壊検査における圧縮センシングによる分解能向上に関する論文)」が学生奨励賞に選ばれ、昨年12月25日付で表彰された。

柴田研の2人が受賞

小野澤さん大原さん ■ 色材協会国際会議

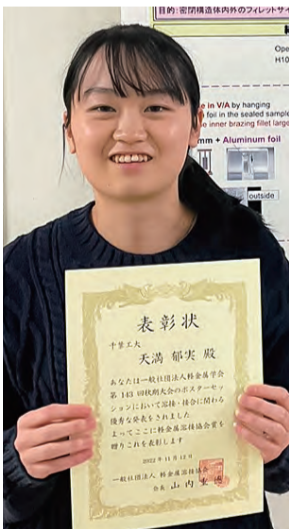


小野澤彩さん(色材協会国際会議)が優秀ポスター賞を受賞した。

大原明香理さん(色材協会国際会議)が優秀ポスター賞を受賞した。

アルミニウムのフラックスフリーのろう付け向上

天満さん ■ 軽金属溶接協会賞



天満さん(軽金属溶接協会賞)が優秀ポスター賞を受賞した。

天満さん(軽金属溶接協会賞)が優秀ポスター賞を受賞した。

天満さん(軽金属溶接協会賞)が優秀ポスター賞を受賞した。

天満さん(軽金属溶接協会賞)が優秀ポスター賞を受賞した。

信川研2人 学生論文賞

安田さん松元さん ■ 体内時計や脳神経回路



安田義昭さん(体内時計や脳神経回路)が優秀論文賞を受賞した。

安田義昭さん(体内時計や脳神経回路)が優秀論文賞を受賞した。

安田義昭さん(体内時計や脳神経回路)が優秀論文賞を受賞した。

安田義昭さん(体内時計や脳神経回路)が優秀論文賞を受賞した。

安田義昭さん(体内時計や脳神経回路)が優秀論文賞を受賞した。

安田義昭さん(体内時計や脳神経回路)が優秀論文賞を受賞した。

安田義昭さん(体内時計や脳神経回路)が優秀論文賞を受賞した。

安田義昭さん(体内時計や脳神経回路)が優秀論文賞を受賞した。

安田義昭さん(体内時計や脳神経回路)が優秀論文賞を受賞した。

安田義昭さん(体内時計や脳神経回路)が優秀論文賞を受賞した。

安田 義昭さん

安田義昭さん(体内時計や脳神経回路)が優秀論文賞を受賞した。

安田義昭さん(体内時計や脳神経回路)が優秀論文賞を受賞した。

安田義昭さん(体内時計や脳神経回路)が優秀論文賞を受賞した。

安田義昭さん(体内時計や脳神経回路)が優秀論文賞を受賞した。

安田義昭さん(体内時計や脳神経回路)が優秀論文賞を受賞した。

安田義昭さん(体内時計や脳神経回路)が優秀論文賞を受賞した。

安田義昭さん(体内時計や脳神経回路)が優秀論文賞を受賞した。

安田義昭さん(体内時計や脳神経回路)が優秀論文賞を受賞した。

安田義昭さん(体内時計や脳神経回路)が優秀論文賞を受賞した。

安田義昭さん(体内時計や脳神経回路)が優秀論文賞を受賞した。

スタンガンの性能に指針

大山さん ■ 発表会で敢闘賞

大山さん(発表会で敢闘賞)が優秀論文賞を受賞した。

大山さん(発表会で敢闘賞)が優秀論文賞を受賞した。

大山さん(発表会で敢闘賞)が優秀論文賞を受賞した。

大山さん(発表会で敢闘賞)が優秀論文賞を受賞した。



大山さん(発表会で敢闘賞)が優秀論文賞を受賞した。



寄贈式で（右から）瀬戸熊理事長、MITホールディングスの増田社長、千葉興銀の深谷浩之津田沼支店長



目録を贈られる（右から）内海教授、橋本准教授と千葉興銀の池田社長、千葉興銀の金杉毅本店営業部長

海洋プラスチック 最新鋭分析装置 亀田研へ

日本郵船から寄贈

世界の海に広がり人体への影響も懸念されるマイクロプラスチックについて、本学は1月24日、海洋を共同調査している日本郵船(株)から、超微細

なマイクロプラスチックを分析できる「顕微ラマン分光装置」を寄贈された。都市環境工学科の亀田教授の研究室では、すでにこの装置で汚染微粒子の組成などを自動分析する手法を確立しており、世界をリードする研究へ強力な味方となる。海洋には毎年800万

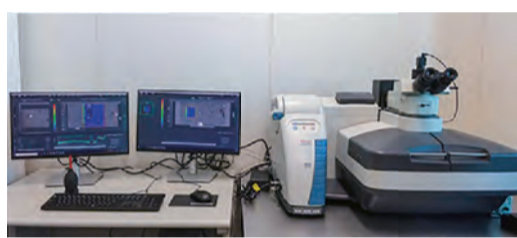


寄贈式で亀田教授(右)に顕微ラマン分光装置の目録を手渡す日本郵船の筒井裕子執行役員

顕微ラマン分光装置寄贈式

日本郵船株式会社様

以上のプラスチックごみが流入しており、2050年には海洋プラスチックの重量が海中魚類の総重量が海中魚類の総重量の10倍に達する。顕微ラマン分光装置を



顕微ラマン分光装置

超微細なマイクロプラスチックを分析するために不可欠とされる。超微細なマイクロプラスチック(0.02μm)未満のマイクロプラスチック。写真は顕微ラマン分光装置で撮影した超微細ポリカーボネート

SDGs(持続可能な開発目標)に取り組む本学に1月30日、(株)千葉興業銀行(梅田仁司頭取)から寄贈があった。一

千葉興銀から本学に寄付

SDGs 取り組み支援

SDGs(持続可能な開発目標)に取り組む本学に1月30日、(株)千葉興業銀行(梅田仁司頭取)から寄贈があった。一

SDGs(持続可能な開発目標)に取り組む本学に1月30日、(株)千葉興業銀行(梅田仁司頭取)から寄贈があった。一

津田沼PARCOにマップピング

本学も参加 閉店を飾る

津田沼PARCO(JR津田沼駅北口)の閉店を飾るプロジェクトが、本学も参加し、最新テクノロジーで想像力豊かに未来の津田沼を表現した。

津田沼PARCO(JR津田沼駅北口)の閉店を飾るプロジェクトが、本学も参加し、最新テクノロジーで想像力豊かに未来の津田沼を表現した。



④ PARCO壁面に映し出された「20年後の津田沼は——」 ⑤ 10秒CMで千葉工大をアピール



津田沼PARCO(JR津田沼駅北口)の閉店を飾るプロジェクトが、本学も参加し、最新テクノロジーで想像力豊かに未来の津田沼を表現した。

津田沼PARCO(JR津田沼駅北口)の閉店を飾るプロジェクトが、本学も参加し、最新テクノロジーで想像力豊かに未来の津田沼を表現した。

ものづくりに関心を

南房総市と共催 ■ ロボなど体験講座

包括的連携協定を結んでいる本学と南房総市は昨年12月25日のクリスマスに、「わくわく科学技

術体験講座」を同市の三芳農村環境改善センターで共催。市内の小中高校生や保護者ら約100人が訪れ、学生たちが作ったロボットやドローンを操縦体験した。

共に進める「産学協働地域活力創造事業」の一つ。子どもたちにもものづくりに関心を持ってもらうと「集まれ未来のエンジニア！」をテーマに開催した。

2足歩行ロボットの操縦体験では、子どもたちがリモコンを細かく動かしてペットロボットの標的を倒した。ドローン操縦コーナーでは、前に進めたり高く上げたりして楽しんだ。小学5年の男子は「難しかったけど、コ



④2足歩行ロボットの操縦体験を撮影するNHK取材班(右) ⑤A-画伯とイラストづくりに挑戦



竹灯籠で境内を灯す「竹あかり」が昨年12月から、南房総市千倉町南朝夷の高家神社(高木幹人宮司)で催されているII写真。

東日本大震災の沿岸被災者を迎え入れたことがある市内で、令和元年から始められた。千倉地域

復興願い「竹あかり」 本学も参加 ■ 高家神社

この様子は当日、NHKニュースで放送され、子どもたちが楽しむ姿が映し出された。



くれるコーナーも人気を呼んだ。プロジェクトマネジメント学科の加藤和彦教授は「子どもたちが目を輝かせていたのがうれしかった。自分も将来、作ってみたいと思っ

白目目標球(ジャックボール)に向かって、2チームが青と赤のボールを投げ合い、転がし、他のボールに当たったりして、目標球にいか近づけるかを競う。投げられなければランブとよばれる滑り台を使ってもよい。陸上のカーリングともいわれ、1988年から五輪の正式種目。

今回は講師に千葉県ボッチャ協会の宮坂昇会長と初見政子さん、ボッチャ競技選手の佐藤大介さんを招いて約2時間、体

障がい者に理解を深めパラスポーツに関わる学生を育てようと千葉市が進める「大学連携パラスポーツ講座」の一環で、今回は先進工学部教育センター・金田晃一教授の呼びかけで実現した。

ボッチャ(Bocci)はボールを意味するイタリア語。重度脳性まひや手足の機能障害をもつ人たちのためのスポーツとしてヨーロッパで考案され

42人「ボッチャ」を体験 新習志野で ■ パラスポーツ講座

千葉市と本学のパラスポーツ講座「ボッチャ体験」が昨年11月10日、新習志野キャンパス体育館アリーナで開かれ、学生・教職員計42人がほ

の青木秀幸氏が製作した鳥居型オブジェが飾られて、優しい光が境内を彩っている。

の坂下茂樹さんが1月7日、胃がんのため死去した。63歳。

平成25年4月1日から勤務し9年9カ月間、施設の運営を支えた。

この春に副担任として4年間関わってきた学生たちが卒業していきま

今年是对面での授業も多く実施され、ゼミでもみんなと顔を合わせる機会が多くなり、以前のよ

四季雑感

最強寒波到来と、寒さが一段と厳しくなりました。東北生まれの私は、寒さには強かったです

まっけて貼りつらく、何かいい方法はないかなと考えた結果、湿布と同じように床に置いてゴロン!の必殺技を活用。毎朝滑稽な姿でホッカイロを貼っています。

津田沼バルコが今月末で閉店する。

実は学生の頃、しばらく津田沼にアパートを借りて住んでいたことがあり、バルコにはだいぶ通った覚えがある。田舎者の私には、津田沼バルコは何でもそう宝箱のような存在だったのだ。

就職先が千葉工大となつてからは、夏が来ると屋上でのビアガーデンが懸垂幕で告知される度、心を躍らせたものだ。

閉店に向けて、津田沼PARCOと本学デザイン科学科が協力して、最

編集だより

津田沼バルコが今月末で閉店する。

閉店に向けて、津田沼PARCOと本学デザイン科学科が協力して、最

就職先が千葉工大となつてからは、夏が来ると屋上でのビアガーデンが懸垂幕で告知される度、心を躍らせたものだ。

閉館自体は寂しいが、「さよなら」ではなく「またね」。学生が感謝の気持ちを込めて試行錯誤したイベントは、最後までワクワクしそうな気配。

入試広報部 大橋 慶子

入試広報部 大橋 慶子

PPA

この春に副担任として4年間関わってきた学生たちが卒業していきま

今年是对面での授業も多く実施され、ゼミでもみんなと顔を合わせる機会が多くなり、以前のよ

入試広報部 大橋 慶子

入試広報部 大橋 慶子

入試広報部 大橋 慶子

入試広報部 大橋 慶子

入試広報部 大橋 慶子

入試広報部 大橋 慶子

入試広報部 大橋 慶子

入試広報部 大橋 慶子

入試広報部 大橋 慶子

入試広報部 大橋 慶子

入試広報部 大橋 慶子

入試広報部 大橋 慶子

入試広報部 大橋 慶子

入試広報部 大橋 慶子